



第21回 島田療育センター公開シンポジウム

2024 **2/10** **土** 13:00~16:10

オンライン開催
Zoomウェビナー

障害を持つ者の教育と就労 — 「私」の物語から考える —

榊原 洋一 氏

お茶の水女子大学 名誉教授/小児科医

「障害を持つ者の学びと遊びを考える
—何故、学校？ 個別課題からシステムへ—」

野路 和之 氏

NPO法人わかさ福祉会 理事長/
障害者就業・生活支援センターTALANT センター長

「障害を持つ者の学びと仕事を考える
—何故、就労？ 現状と課題—」

申込方法

QRコード、または下記のURLよりお申し込みください。
<https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/event/sympo21>



参加費

500円

定員

450名 (先着順)

主催者メッセージ

「障害を持つ者」といっても年齢や重症度により教育におけるニーズは大きく異なり、一括はできない。就労においても同様である。日本で若者の自殺や不登校が増え続けることは、教育システムの破綻ともとれるし、古来日本の社会が醸成してきた共同体の相互扶助性と表裏一体の閉鎖性が前面に出ているともいえる。個々の当事者にとっての居場所の確保には何が必要か、個別性の中であるべきインクルーシブ教育とは、就労における個別の課題、不登校の日本の問題、海外との比較でみえてくるものにも注目したい。

社会でみていくとはどういうことであろうか。既存のカテゴリーでは語れない「私」の物語をどう「我々」の未来に接続していくか。こういう問題意識で、今回はお二人の演者の方に、ご自身の経験と洞察を縦横に語っていただき、未来につながる学びの場としたい。(院長 久保田 雅也)

主催

島田療育センター

お問い合わせ

島田療育センター 支援部

後援・助成

読売光と愛の事業団

電話 042-374-2101 (直通)

(受付時間：平日 9:30~12:00/13:00~17:00)